

整理番号	19-46	事務事業名	(障がいサービス事業) 福祉施設整備支援事業		作成部署	保健福祉部福祉課	電話	内線812
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	上村 弘志	課長職名	小西 洋一	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度		根拠法令等	北広島市社会福祉施設整備費補助要綱					
" 終了予定年度								
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	市民が入所・通所や短期入所などで利用する必要性の高い施設であることから、国庫補助を受けて行う施設整備事業を支援する。							

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	安全で安心できるまち	(第1章)
	節	地域福祉	(第2節)
	施策	福祉環境の整備	(第3施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	市内の社会福祉法人	
	意図(何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	老朽化した福祉施設の整備を支援し、居住環境の改善を図り利用者の福祉の向上を図る。	
手段(ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	[支援事業:債務負担行為] 平成12年度 北広島リハビリセンター更生部大規模修繕事業、リハビリエイト改築事業、富ヶ岡学園改築事業 平成13年度 富ヶ岡学園改築事業 平成14年度 北広島リハビリセンター拡張事業
		17年度	同上

2 実施(ドゥ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	13,177	19,230	15,356	9,303
	合計	13,177	19,230	15,356	9,303
人件費(概算)	人数(年間)	0.01	0.01	0.01	0.01
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	90	90	90	90
総事業費 +		13,267	19,320	15,446	9,393

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	債務負担行為件数	5件	5件	5件	5件
	(北広島リハビリセンター更生部定員)	95人	98人	98人	98人
	(リハビリエイト定員)	59人	59人	59人	59人
	(とみがおか定員)	86人	86人	86人	86人
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	指標の設定は困難				
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	利用者1人当たりコスト (総事業費 / 利用者総数)	55,279円	79,506円	63,563円	38,654円

3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	支援費の施設サービス、在宅の福祉サービスの提供基盤として障がい者施設の役割はますます重要であり、どのまちでも各種サービスの提供基盤が充実していることが必要となっている。市内にはほとんどの施設機能が配置され、また老朽化した施設の改築もリハビリークリナースを除いて完了している。
---------------------------------	---

【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	市民が利用する必要性の高い施設の整備に対する支援であり、必要な施設の整備を促進させるためには行政の支援が重要である。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	施設の整備により、利用者の住環境の改善とサービスの充実が図られる。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	現在は一律の補助であるが市民ニーズに応じたサービスを提供できる必要性の高い施設に対して事業を実施するなど選別が必要と思われる。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない		

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	現在は整備完了した事業の債務負担行為である。支援費制度の福祉サービス提供基盤として十分に寄与している。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	補助金の執行であり、コスト削減の方策はない。	

【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	市内に無い施設機能の充実が必要であるが、計画に位置づけされた整備に対して補助するなど、施設整備について一定の方針を示す必要があると思われる。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	市の地域福祉計画や障がい者福祉計画等に位置付けされた施設の整備に補助するなど、今後の福祉施設整備に対する補助のあり方について、方針を明確化する。